

小さな室内楽 in 関西 2019

リコーダー

本村睦幸

チェンバロ

三和睦子



～ ローマ、ナポリ、ヴェネツィア ～

コレッリ:ソナタ 作品5の4(ペツによる編曲版, 1707)

レーオ:リコーダーソナタ 第1番 へ長調

フェルディナンド・デ・メディチ:プレリュード(チェンバロソロ)

D. スカルラッティ:チェンバロソナタ K 492(チェンバロソロ)

ヴェラチーニ:リコーダーソナタ 第3番 ニ短調

2019年3月23日[土]

休憩なし60分のトークコンサート

14:30 開演 (14:00 開場)

ノワ・アコルデ音楽アートサロン

豊中市服部本町2-5-24

<http://www.ne.jp/asahi/noix/accordees/salon/index.html>

阪急宝塚線[服部天神駅]より東へ徒歩5分

リコーダーの本村睦幸が、東京・中野のSpace 415を中心に、より親密で気軽なサロンコンサートを目指して開催している「小さな室内楽」シリーズ。関西では、ノワ・アコルデ音楽アートサロンで今年も開催します。バロックの小さなアンサンブルは、お話も交えながらの和やかな場でこそ、深い魅力を味わえるはず。どうぞお楽しみに。

全自由席 ¥3,000 要予約

■ご予約・お問い合わせ

lusthof.concerts@gmail.com デ・ルストホフ

080-3157-4992 弥永

06-6862-8855 ノワ・アコルデ事務所(平井)

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

アムステルダム音楽院卒。W. ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年に渡る活動を経て、2001年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にととの聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開している。現在は、リコーダーに本来的な小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズを東京での活動のベースにおきながら、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉や、古楽器に限らない多様な演奏家との共演、現代作品の委嘱などをも通してリコーダー音楽の可能性を追求している。CDに「オランダバロックの愉悅」、「バルサンティ:リコーダーソナタ全6曲」、「無伴奏リコーダー 600年の旅」があるほか、昨年は、CD「テレマン：無伴奏フルートのための12のファンタジア」に加えて、同曲集のアルトリコーダー版を全音楽譜出版より校訂出版している。

そして、本年は、8月24,25日の両日、東京文化会館小ホールで開催される「東京リコーダー音楽祭2019」

(<http://tokyo-recorder.com/>) のディレクターとして、準備に邁進中。

ホームページは、<http://mutsuyukimotomura.com/>

三和睦子 Mutsuko Miwa (チェンバロ)

桐朋学園大学古楽器科及び同研究科修了。相愛大学古楽器科非常勤講師を経て、兵庫県新進芸術家海外留学助成事業の1期生として、ベルギー・アントワープ王立音楽院に留学。最高榮譽賞付ディプロマを得て卒業。オーストリア・スティフトメルク古楽コンクール特別賞。1996年よりブリュージュ国際古楽コンクール公式伴奏者。ソリストとしてブリュージュ国際古楽祭、ユトレヒト古楽音楽祭、フライブルク国際音楽祭などに出演。室内楽奏者として、イル・フォンダメント、ベルギー・フランドルオペラ座、ブラジル・サンパウロ市立劇場などと共演。1999~2006年アントワープ王立音楽院講師。2006年文化庁芸術家在外研修員。

